

目 次

【北 京】八達嶺の長城／故宮／頤和園／天壇／ 慕田峪長城／明の十三陵	1 ~ 2
【河北省】清の東陵／清の西陵／北戴河／山海関／ 避暑山庄／外八廟	2
【山西省】雲岡石窟／五台山／恒山懸空寺／応県木塔	3
【山東省】泰山／孔廟・孔府・孔林／蓬萊閣／岱山	4 ~ 5
【安徽省】九華山／黃山	5
【江蘇省】秦淮／中山陵／紫金山／瘦西湖／揚州の園林／ 大明寺・平山堂／鑑真記念堂／虎丘／鎮江三山／ 無錫太湖／蘇州の園林／寒山寺	6 ~ 8
【上 海】豫園／淀山湖一大觀園	9
【浙江省】杭州西湖／靈隱寺／蘭亭／紹興の東湖／普陀山	9 ~ 10
【江西省】廬山／井岡山／滕王閣／三清山	11
【福建省】鼓山／開元寺・東西石塔／武夷山／鼓浪嶼／万石岩	12
【湖北省】黃鶴楼／武漢の東湖／高嵐景観区／武当山	12 ~ 13
【湖南省】武陵源風景区／岳陽樓／衡山	13 ~ 14
【広西壮族自治区】桂林山水／蘆笛岩・七星岩	14
【河南省】龍門石窟／少林寺／嵩山／鶴公山／竜亭	15
【四川省】長江三峡／杜甫草堂／武侯祠／峨眉山／青城山／ 樂山の大仏・大足石刻／九寨溝・黃龍	16 ~ 17
【雲南省】瀘沽湖・大觀樓／西山・竜門／石林／大理三塔／ 蒼山・洱海／西双版納	18 ~ 19
【貴州省】黃果樹瀑布	19
【チベット自治区】ボタラ宮	20
【吉林省】長白山／松花湖	20
【遼寧省】瀋陽故宮／千山	21
【黒竜江省】鏡泊湖／五大連池	21
【陝西省】秦始皇帝兵馬俑／大雁塔・小雁塔／華山	22 ~ 23
【甘肅省】敦煌莫高窟／嘉峪關／麦積山石窟	23 ~ 24
【内蒙ゴ自治區】白音忽少草原／チンギスハン陵	24
【新疆ウイグル自治区】天池	24



▲故宮 Gugong

北京市
敷地面積：72 万 m² 余
延床面積：約 15 万 m²
周 壁：約 3 km

故宮は、「紫禁城」とも呼ばれ、明・清両王朝の皇帝の宮殿である。明の永楽 4 年（1406）に着工し、永楽 18 年に完了。以来 560 年余、24 人の皇帝が主となった。

周壁の四隅には華麗な角楼が聳え、外側には幅 52 cm の堀をめぐらし、防備が厳重な城壁である。

宮殿には全部合わせて 9000 余りの部屋がある。すべて木造建築で、青白石を土台にしており、屋根には黄色い瑠璃瓦が使われていて、南北に走る中軸線に沿って並び、南北を中軸に、左右対象になっている。



▲頤和園 Yiheyuan

北京市海淀区
國內面積：約 29 万 m²



▲八達嶺の長城 Badaling Changcheng

北京市延慶県
全長：6700 km
(嘉峪關～山海關 2400 km)
高さ：6 ~ 7m
幅：4 ~ 5m

万里の長城は紀元前 7 世紀に建造が始められた。当時、中国の北方には諸侯が割据しており、周辺の諸侯の侵入を防ぐため、相続いでそれぞれの国境に一定の長さの防御壁を築きあげた。同時に、燕・趙・秦の三国の北方には、少数民族の中でも遊牧を主とする匈奴が隣接していた。

紀元前 221 年、秦の始皇帝が中国を統一すると、それまでにあった城壁をつなぎあわせて、今日の万里の長城の基礎ができあがった。

その後、歴代にわたる増築を元・明の時代になって、ほぼ今日のような形になった。



▲天壇 Tiantan

北京市崇文区

敷地面積：27万m²

天壇（天地壇）は、永樂8年（1420）に建造。北京市崇文区の正陽門外、永定門大街の裏側にある。

この天壇にて明・清両王朝の皇帝が、毎年天を祭り五穀豊穣を祈った。

建築物は厳密に設計され配列されており、珍しい構造と美しい装飾で、現存する最も精緻で美しい古代建築群と認められている。

1860年に英仏連合軍、1900年に8か国連合軍に侵入・占拠され重大な破壊を被った。

因みにアメリカの「ディズニーワールド」の中にある中国館は、中国のシンボルである祈年殿を真似て造られたものである。

天寿山麓の青山に囲まれた盆地に、明代の13人の皇帝の陵墓が、散在している。これら陵墓を総称して「明の十三陵」という。

明の永樂7年（1409）に長陵（永楽帝）の造営から、清の順治元年（1644）思陵（崇禎帝）の竣工まで200余年にわたって増築された。

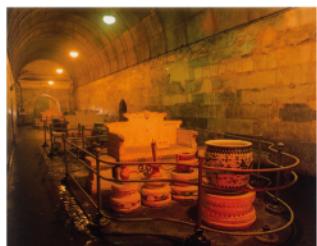
一般に見るのは、建築規模が最大の「長陵」と地下宮殿を発掘してきた「定陵」二つの陵墓だけである。

その他の陵墓は、

獻陵（仁宗）、景陵（宣宗）、裕陵（英宗）、茂陵（憲宗）、泰陵（孝宗）、康陵（武宗）、永陵（世宗）、昭陵（穆宗）、定陵（神宗）、

慶陵（光宗）、德陵（熹宗）

である。



▲明の十三陵 MinShianling

北京市天寿山麓

敷地面積：4万m²

東陵は、明末皇帝の崇禎帝が、墓所として選定していた場所である。

しかし、天下大いに乱れた明末は、まったく着工できなかった。清の順治帝の没後、康熙2年（1663）に、この地を順治帝の陵墓とし孝陵を造営した。

順治帝につづく四人の皇帝も、ここに葬られている。康熙帝（景陵）、乾隆帝（裕陵）、咸豐帝（定陵）、同治帝（慧陵）である。他に后陵が4つ、妃園寝が5つ、公主陵が1つある。

この昌瑞山を中心とした東陵には、皇帝5人、皇后14人、妃嬪136人が葬られている。



▲清の東陵 Qingdongling

河北省遵化市馬蘭谷

敷地：南北 約 125 km

東西 約 20 km



▲雲岡石窟 Yungangshiku

山西省大同市

石窟全長：東西 1 km

雲岡の石窟は、平城（現大同市）に北魏の興安12年（453）から開削が始まり、大和9年（495）の洛陽遷都の前に完成。像造は正光年間（520～525）まで継続し、現在まで1500余年の歴史をもつ。

石窟全体は山に沿って切り開かれ、現存する主な洞窟は53、大小の像は5万体以上。

石窟彫刻のテーマと内容は、殆ど「仏像と仏教上の故事」から構成されている。石窟における仏像は、最大高さ17m（第五窟の三世佛の中央座像）から最小は僅か数ミリ。

彫刻技法は、秦・漢代の芸術的伝統を継承・発展させ、のちの隋・唐代の芸術への橋渡しになった。

五台山は、中国の有名な四大佛教山の一つである。

五台山の靈鷲寺（現・顯通寺）と洛陽の白馬寺とは中国の最も古い寺で、東漢のころに建てられた。後には仏教の伝播につれて、寺の建築規模もますます大きくなり、魏・齊・隋・唐から清代に至るまで度々再建を重ねた。

民国初年、全山は寺廟が100余もあり、1000人ほどの僧侶がいたといふ。

五台山に囲まれた台懷鎮は、寺廟が最も集中しているところで、仏教の仲間が現在でも漂っている。

5峰の名称は、

東台 望海峰、西台 桂月峰、

南台 錦繡峰、北台 葉斗峰、

中台 翠峰巖 である。



▲五台山 Wutaishan

山西省五台県

5峰の周囲：250 km



▲恒山懸空寺 Hengshanxuankongsi

山西省渾源県

懸空寺は、今から1400年も前の北魏末期に創建された。歴代にわたって補修されつづけてきたが、初期の構造を今だに保持している。

先人は懸空寺を紹介するとき、次のように描写した。

「恒山に向かって縁の背景にもたれ、上に険しい岩石を戴き、下に深い谷を臨み、石を削って土台とし、岩によつて家をつくり、構造は峻険にして独特の造形をなす」と。

銅鑄・鉄鑄・泥塑・石掘など80体余りの仏像があり、壁には代々の名士の題詠が彫られている。